



2029 年 4 月の開学に向けて準備が進められている佐賀県立大学（仮称）は、第 1 期生として入学する学年にあたる高校 1 年生を対象にした「プレオープンキャンパス」を開催しました。



本イベントは、2026 年 8 月 1 日（土）・2 日（日）の 2 日間にわたり、鹿島市（JUJIRO CAFE）および佐賀市（佐賀県庁地下 1F サガチカ）の 2 会場で実施されました。

開催の主な目的は、佐賀県立大学が大きな特色として掲げている「課題解決型学習」（PBL= Project Based Learning）を高校生自身に実際に体験してもらい、理解を深めるとともに、今後の進路選択の参考にしてもらうことです。

「学長予定者の山口先生に県立大学のための新企画を提案しよう！」というテーマのもと、「大学生活でハッピーに成長するための『グッズ』を提案する」というミッションが課され、現役の大学生と一緒に高校生たちが課題解決ワークショップに挑みました。

■ 学長予定者 山口和範先生からのメッセージ

イベントの冒頭では、学長予定者である山口和範先生より、佐賀県立大学のビジョンや求める学生像について話がありました。



「2029 年 4 月に佐賀県立大学が開学予定で、皆さんはその 1 期生となる世代です。学部は経営情報学部(仮称)で、AI やデータサイエンスなどを使いながら、地域と一体になって課題解決を行う学びを進めていきます。」

「世の中を変えていく、そうしたことを目指したい人にぜひ入学してほしいと願っています。」

「県立大学では、自分で課題を発見し、解決案を立てて実行する人を育てるプログラムに力を入れていきます。地域の人たちと一緒に、佐賀県を変えていく大学を目指します。」

参加した生徒は、山口先生の言葉に熱心に耳を傾けていました。

■ グループワークの流れ

今回のイベントには、山口先生が在籍する立教大学の学生 4 名（経営学部 3 年 大嵩遥加さん、2 年 檜橋優那さん・佐賀市出身、2 年 池上夏生さん、2 年 君塚茉央さん）もサポートとして参加しました。普段から大学で PBL 授業をサポートしており、開始前から参加者に明るく声をかけ、場の雰囲気のを和ませていました。

ワークショップは大嵩遥加さんのモデレートのもと、以下のような流れで進行了しました。

アイスブレイク（しりとり自己紹介）

最初は緊張気味の高校生たちをほぐすため、「直前の人が話した言葉の最後の語を拾ってしりとりしながら自己紹介をする」手法を採用。サポート役の大学生がフォローを入れることで会話がはずみ、会場内に笑顔が広がっていきました。

ワーク①: ハッピーについて考えよう

ミッション解決の第一歩として、自分が「ハッピー」を感じる瞬間を付箋に書き出しました（「授業が面白かった」「じゃんけんで勝った」「美味しいものを食べた」など）。グループ内で共有・分類し、「なぜそれがハッピーなのか？」を深掘りすることで、課題解決に必要な手法を学びました。



ワーク②&③: 大学生活を知り、アイデアを練る

ドリンクタイムの後、サポート役の大学生が実際の大学生活のスケジュールや過ごし方を紹介。高校生が大学生活のリアルなイメージを持った上で、「ハッピー×大学生活」をテーマに、ハッピーになれるグッズのアイデアを自由に発想・ディスカッションしました。



ワーク④：プラン作成とプレゼンボードづくり

どんな状態をハッピーと考えたのか、グッズ名や特徴、期待される効果について活発に意見を交わしました。サポート役の大学生からの助言を受けながら、手分けしてプレゼンボードを埋めていきました。

プレゼン練習・発表本番

各グループがプレゼンの練習を行った後、グループごとに3分間のプレゼンテーションを実施。柔軟で実用的な企画が相次いで提案されました。

鹿島会場では自分時間に没頭できる「ソロハピアイマスク」や頑張りをポイント化する「フリーパスカード」、佐賀会場では、単位管理アプリの「トルタン」や、くつろぎ空間を作る「リッピーソファ」など、高校生らしい画期的なアイデアが飛び出し、会場を沸かせました。



発表後には、サポート役の大学生からヒントやフィードバックを受けました。



■ 総評・山口先生からのエール

全グループのプレゼンを聴いた山口先生は、参加した高校生たちへ次のようにエールを送りました。

「佐賀県立大学では、大人や地域の人たちと一緒に佐賀県全体をフィールドにしてグループワークを行っていきます。どんなプロジェクトも一人で行うことはありません。大切なのは、AI も含めて色々な人とチームになって一緒にやれるかどうかです。」

「充実した高校生活を送って、県立大学に行ってもいいかなと思ってくれたら嬉しいです。あと2年半、幅広い分野に関心を持ち、しっかりと勉強してください！」

イベントの最後には、参加した高校生一人ひとりに「修了証」が授与されました。



■ 参加者の声

参加した高校生からは、様々な声がありました。

- ・思ったよりも楽しくて大変だった
- ・初対面の仲間と協力して良いアイデアにもっていくのが楽しかった
- ・佐賀県立大学の学びの内容がわかり、イメージが変わった。PBL が面白そうで、進路の選択肢になった
- ・人との関わりを通じて成長できる自由さを感じ、視野が広がった
- ・グループワークでの大変さや協力して成し遂げることの大切さや達成感を学べた
- ・合格したらちょうど1期生になれるので、気になって申し込んだが、グループで協力して1つの問題に向かっていくところが面白く、佐賀県立大学にもっと興味がわいた

今後も大学の学びを実際に体験してもらうイベントを行う予定です。